



いまいは
今
vol. 275

発行 今井町並み保存会
発行日 令和5年5月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
[e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp](mailto:imaicho@m3.kcn.ne.jp)
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

4年ぶりに

対面で当保存会総会開催

4月21日(金)、18時から今井地区公民館講堂において令和5年度の当保存会の総会を開催。

昨年は役員改選の節目となる大事な年でしたが、コロナ禍の為、やむを得ず常任理事会だけ対面で実施し、理事皆さんには書面表決を実施するという二段階の変則的な総会になりました。

今年の総会は、普通の対面による総会ができました。

司会は当保存会副会長の工藤桂市が担当し、議事進行は当保存会中西知会長が担当、令和4年度事業報告(案)及び決算報告(案)、令和5年度の事業計画(案)及び予算案、役員の一部変更についても審議され、異議なく全案件が承認され議事が終わりました。

その後、松南宏次副市長と細川佳秀市会議員に祝辞をいただき、来賓皆様を紹介し



ました。つづいて山下義孝今井町並み保存整備事務所長が所員全員を紹介。最後に、若林稔相談役の閉会挨拶で総会を閉じました。

昨年度を振り返りますと、5月にはコロナ以前の「今井町並み散歩」とは全く規模は異なりましたが、

コロナ禍でもできる範囲でできることをやるうという強い気持ちで、茶行列の衣装展示と旧米谷家での「名工の館」、今井西環濠広場に会場を絞った「六斎市」を開催しました。

8月の灯火会も、点灯数は最盛期には比肩できませんが、2,000灯余りを中尊坊通り、御堂筋、春日神社で点灯し、今井西環濠では復原された堀に灯籠を浮かべて久々に今井町の夏の風物詩が蘇りました。

10月には、「はならあと2022」を春日神社の秋祭りに開催時期を合わせて催しました。今井町はサテライトの会場としての参加でしたが、それでも延べ3千人を超える来場者がありました。

「コロナ禍が徐々に落ち着きつつあるとは肌身で感じていたものの、何をするにもいつもコロナが頭から離れない一年ではありましたが、当保存会の活動はコロナ明けに向けて着実に地歩を固めることができましたと思います。

さて本年度は、平成5年(1993)12月に文化庁より今井町が重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから30周年の節目の年にあたります。

昭和30年から東京大学工学部建築史研究室が「今井町住宅調査」を始めたことで端緒となつて寺内町今井が歴史的建築的に稀有な町として知られるようになってから約70年過ぎました。

その間、昭和30、40年代の高度成長期に奇しくも今井町は大規模な破壊を免れました。そして、歴史的な文化財に着目する先駆者達の熱意と行動力により、昭和49年には「町並み保存連盟」が結成されました。その後は、「今井町甦る自治都市」という書物に記載されている経緯を経て、重伝建選定に至りました。

この重伝建選定と郷土を愛する住民意識の高揚こそが今日の今井町を作り上げる原動力になりました。加えて、当保存会の町並みを守る活動が大きな役割を果たしたと思っています。今後は、「新たな一歩!」を真の今井町活性化の為に踏み出すことが重要な課題です。

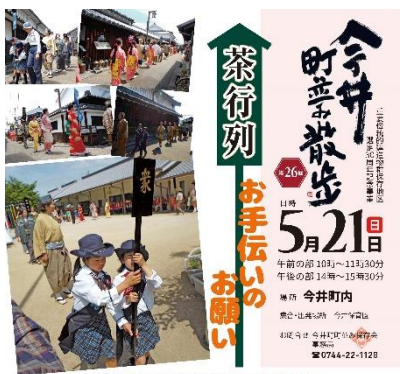
第二回 今井町並み散歩

実行委員会 開催

4月23日(日)、18時から今井地区公民館講堂において標記委員会を開催。

前回3月11日の実行委員会のあと、2、3追加のイベントが加わりましたが、今回はすべてのイベントについて日時と場所について最終確認を行いました。又、それぞれ準備物・担当者の割り当てや必要人員等、詳細な打ち合わせを実施しました。

今回の町並み散歩の目新しい点は、5月13日に開会式兼記念講演会を今井小学校で実施すること。茶行列に今井町在住の方々も参加可能としたこと。茶行列の茶人のプラカードを持って歩く子供達を広く小学生から募集すること等です。多くの皆様の積極的な参加とご支援をお願いします。



お手伝いの内容：茶行列で茶人とともに町の中を歩く。
・今年町並み散歩の「茶人(茶人)」とお茶をテーマに国時代史の知識を交えて今井宗久、千利休、深田山久という茶人や徳川家康、豊臣秀吉の歴史の中を歩きます。
・玉環さん(お茶の人の名前)を演じる、お茶の道(プラカード)を持ってお茶の道へ参加します。
※お茶の道は、お茶の道(プラカード)を持ってお茶の道へ参加します。

申し込み用紙	
姓 名	
住所	
電話番号	
連絡先	

六斎市は自治会が担当して、中尊坊通り・御堂筋・春日神社・今井西環濠広場が今井町内、今井小学校区内の地元の方々が出店する予定で4月30日に六斎市出店者向けに説明会が開催される予定です。

協賛金の

ご協力ありがとうございました。

今井町並み散歩のマップを毎回作成し、表面は茶行列の歩くコースと通過時刻と各イベントの日時場所の紹介。裏面には協賛いただいた会社、店舗、団体、個人の名前を掲載して配布していました。

本年からは裏面の協賛一覧は共通で、表面を町並み散歩期間限定版マップと通年使用できるマップの2種類を制作します。

3年間協賛金をお願いしていませんでしたので、それぞれ協賛者皆さんの経済状況も変化していて、4年前104件の協賛者のうち今回32件が抜けられました。長年にわたり協賛いただき、ありがとうございます。新たに30件協賛者が増え、協賛覧面積を2倍にしていただけの先が4件、逆に半分になった先が5件となり、総協賛金額は例年並みとなりました。今回は一般の個人からの協賛は極力避けて、会社、店舗、団体様に協賛していただきました。協賛して頂いた皆様には改めて衷心より厚くお礼申し上げます。

奈良医大学生の

アンケート集計結果報告

1月30日、奈良県立医科大学での講義(本紙二月号表面記載)の後、学生達に書いてもらった「今井町に関するアンケート」用紙の集計結果を報告します。

回収できたアンケートは、医学科98人、看護学科80人、合計178人分です。

医学科は県内出身者が3割より少なく、看護学科は約半数です。大学入学前に「今井町という地名を知っていたか」という設問には、65%が知っていたと回答。「今井町に行ったことがあるか」という設問には、67%が行ったことがあると回答。「今井町での滞在時間」を尋ねたところ、2時間が最も多く、1時間・1時間半・2時間と回答した人が73%に達しました。「今井町で何をしたか」の設問(複数回答可)では、85%が飲食、次いで町並み見学が35%で、重文民家を含む施設の見学はわずか15%でした。

これらの集計結果の示すところは、大学入学前から「今井町」という地名の知名度は65%と高く、今井町への訪問も67%と高率ですが、今井町への滞在時間は平均2時間にも満たない状況で訪問の目的も殆んどが飲食であるということです。

今井町を訪れる人の滞在時間を延ばす工夫(学習・体験)と、飲食以外の消費を増加させることが、一般来訪者(観光客含む)に対しても課題となると思います。

「講義を聞いて、今井町に興味を持ったかどうか」の設問には、学生が70%の学生が興味を持ったと回答。お世辞的要素も多分に含まれているとしても講義を担当させていただいた甲斐がありました。